

平成 22 年 5 月

株主各位

愛知県清須市西枇杷島町
子新田 1 番地の2
東海染工株式会社
取締役社長 八代芳明

平成 22 年 3 月期末配当金の見送りにつきまして

拝啓 株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ご高承のとおり、わが国経済は外部要因からの不安材料が重なり、景気回復は力強さを欠いた不透明感が強い状況に陥っております。

繊維業界は、生活防衛意識の高まりから節約志向が続き衣料品販売高の減少に歯止めがかからず、非常に厳しい状況となっております。

当社グループとしましては、収益力を回復し市場での生き残りを図るために、国内では染色加工事業の再構築として名古屋事業所から岐阜事業所へのニット加工事業の集約化、及び浜松事業所への織物プリント加工設備の移管を推進しました。一方、海外子会社におきましては、日本との経済連携協定を背景に日本向け輸出の増加に加えて内需拡大を促進し大幅な黒字回復となりました。また、非繊維部門では、順調に成長を続ける保育サービス事業の拡大に注力しました。

しかしながら、国内染色加工事業の減収による収益悪化に加えて、事業統合に伴う機会損失・生産ロスが大きく発生したことが影響し加えて、ニット加工事業の集約化及び織物加工事業統合に伴う固定資産廃棄損の計上もあり大幅な損失となりました。

このような状況から、期末配当につきましては、5月17日開催の取締役会決議により、誠に遺憾ながら見送らせていただくことといたしました。早急に収益回復を実現し、復配に向けて、全社一丸となって邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具